

船舶事故調査報告書

平成28年7月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	のり養殖施設損傷
発生日時	平成28年3月1日 14時30分ごろ
発生場所	広島県福山市田島南方沖 百貫島 ^{ひゃっかん} 灯台から真方位032° 2.5海里付近 (概位 北緯34° 20.2′ 東経133° 18.2′)
事故の概要	プレジャーボート ^{ワウハウス} WOWHOUSEは、東北東進中、のり養殖施設に乗り入れ、同養殖施設ののり網等に損傷を生じた。
事故調査の経過	平成28年3月7日、調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート WOWHOUSE、4.8トン
船舶番号、船舶所有者等	293-37883 広島、ワウハウス株式会社
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	本船 なし のり養殖施設 のり網等に損傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 ほぼ高潮時
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人1人を乗せ、田島南方沖を約6ノットの対地速力で手動操舵により東北東進した。</p> <p>本船は、船長が、前方に「田島南方沖に設置されたのり養殖施設」（以下「本件養殖施設」という。）のブイ2個を認め、ブイの間であれば航行できると思い東北東進を続け、本件養殖施設に乗り入れて絡網した。</p> <p>船長は、船舶管理の委託会社に救助を要請するとともに、民間救助機関を経由して、本事故の発生を海上保安庁に通報した。</p> <p>本船は、来援した船にえい航されて、マリーナに帰った。</p> <p>船長は、本事故発生場所付近を、約3回航行した経験があったものの、本件養殖施設のブイ等の設置状況を知らなかった。</p>
分析	本船は、田島南方沖を東北東進中、船長が、前方に本件養殖施設のブイ2個を認めた際、ブイの間であれば航行できると思い、東北東進を続けたことから、本件養殖施設に乗り入れて絡網し、本件養殖施設に損傷を生じたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、田島南方沖を東北東進中、船長が前方に本件養殖施設のブイ2個を認めた際、ブイの間であれば航行できると思い、東北東進を続けたため、本件養殖施設に乗り入れたことにより発生し

	たものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養殖施設の設置状況について、マリーナで情報収集するか、ヨット・モーターボート用参考図等で確認しておくこと。